

平成 27 年

羊膜移植の術者認定を希望する先生方へ

日本眼科学会理事長 山下 英俊
日本角膜学会理事長 島崎 潤
日本角膜移植学会理事長 西田 幸二

2014 年より羊膜移植が保険収載されております。羊膜移植の安全な実施に向けて、日本眼科学会、日本角膜学会、日本角膜移植学会の 3 学会で検討した結果、羊膜移植の術者は、羊膜移植講習会（日本角膜学会開催、日本眼科学会認定）を受講し、羊膜移植術者の認定を受けた上で羊膜移植を実施していただきます。羊膜移植講習会は年 2 回、角膜カンファランス、日本臨床眼科学会の期間中に行います。

術者として必要な要件は、

- ①□ 眼科の経験を 5 年以上有する。
 - ②□ 羊膜移植の術者または助手の経験を 6 例以上有する、
 - ③□ 羊膜取扱いガイドライン*および羊膜移植ガイドライン*の内容を順守して羊膜移植を行う、
- です。

羊膜移植術者の認定を希望する先生は、講習会を受講した上で、日本角膜学会に次頁の書類を送付して術者認定書を受け取ってください。

* 羊膜取扱いガイドラインおよび羊膜移植ガイドラインは日本角膜学会のウェブサイト (<http://www.cornea.gr.jp/>) から閲覧してください。

別紙 1 羊膜移植術者認定申請用紙

日本角膜学会

島崎 潤 理事長 殿

私は、以下の要件を満たしており、羊膜移植の術者としての認定を希望します。

1. 私は眼科の経験が5年以上あります。
2. 私は羊膜移植の術者または助手の経験が6例以上あります。
3. 私は羊膜取扱いガイドラインおよび羊膜移植ガイドラインを遵守して羊膜移植を行います。

所属施設名

申請者氏名

印

E-メールアドレス：